

富山経協



フキノトウ (解説・10ページ)

CONTENTS

- 2 TOP INTERVIEW
ピア 松原隆光社長
- 4 新春互礼会 (報告)
- 5 Keikyo行事レポート
- 6 参加者NOTES
- 7 おしらせ
- 8 調査報告
2014年冬季賞与支給結果 (最終集計)
- 8 会員の動き
- 9 景況指標
- 10 事業予定

顧客満足が達成感に 社員の学習と成長を促す

株式会社ピア
代表取締役

松原 隆光 氏



1984年に創業され、「トータルカーライフサポート」を掲げて発展してこられました。

もともと事業をしたいという思いがあり、28歳で脱サラし、富山市掛尾で「プロフェッショナルゾーン・ピア」を開店しました。ハイエンドのアルミホイールや高級カーオーディオなどを専門に扱うショップです。

自動車が広く普及した頃でした

が、他店で取り付けられた用品を見ると、雑な仕事も多く、もっとトータルにサービスを提供したいと、カー用品全般を扱うボランティアチェーン「イエローハット」の富山店を1988年に、北陸で初めてオープンしました。現在では富山県内5店舗、石川県に3店舗を展開し、钣金修理や車検のニーズにも応えるため工場も備えています。

—チラシ撒かず口コミ重視—

御社の特徴を教えてください。

チラシ広告をやめ、口コミによる集客を基本としています。通常、新聞折り込みなどのチラシは集客の基礎になりますが、そこでお客様が期待するのは価格だけです。当社も以前はチラシに随分とお金をかけましたが、価格競争が厳しくなるばかり。一方、お客様も来店して「これ下さい」で終わりです。本当に必要なものか、満足できる商品かは使ってみるまで分かりません。

お客様が期待するものには、商品の価格、納期、品質、接客、アフターサービスなど色々な要素があります。当社ではお客様の車とカーライフを考えて、ご要望をヒアリングし、それに見合った商品を提案します。それが当社の品質であると社員に常々言っています。価格はその結果で、チラシによる集客とは全く逆の販売プロセスになるのです。

2010年にはサービス産業生産性協議会の「第9回ハイサービス日本300選」に選ばれています。

法人車両を対象に始めた「ピア・ワンストップ・ソリューション」が評価されました。その頃、リーマンショックがありました。企業は人件費をはじめ、色々コスト削減に努力しましたが、車にかかる経費は意外と分かっておらず、社有車が10台あったら、10台合わせて年間維持費を計上しているのがほとんどです。

しかし、車種や使い方の違いによって、走行1kmあたりの平均コストを出すと、大きな差があるのです。1台ごとの情報を管理できる「車両管理システム」を開発し、事業展開しました。そして、

車（ドライバー）ごとの営業成績も重ねて、費用対効果もパソコンで見えるようにしました。

「一車両情報の“見える化”」 個人向けサービスから法人向けサービスへの展開ですね。

このシステムの営業を通じて、法人のお客様との取引が増加しました。車検、修理、そして用品も取り扱っていますので、トータルでサポートできるのが強みです。

さらに、このシステムを運用する中で車の稼働時間も見えてきました。1日8時間の営業時間の内、車が動いているのは平均して2～3時間程度。そこで「社内カーシェアリングシステム」を開発しました。担当や部署ごとに保有している社有車を社内で共有することで、保有数を削減できます。

もう一つ、「代車管理システム」も開発しました。钣金修理や車検を手掛けると、当社でも70～80台の代車を保有していますが、その稼働が把握できていない。修理部門の業績が悪いと、担当者が「代車が足りない」と言うことがあります。よく聞くと代車が1週間出たまま。一方、回転の良い店は2～3日で回しています。

代車の回転の良い店はそれだけ生産性が高いわけで収益が上がりますし、修理が早いことはお客様の満足につながります。

昨年1年、自社でテスト運用し

ながらブラッシュアップしてきました。そしてこの1月から新サービスとして販売を開始しました。**社員教育はどうされていますか。**

会社の成長のベースは社員の学習と成長です。学習によって良い仕事ができ、良い仕事は顧客満足に繋がり、顧客満足は会社の財務内容を良くし、自分へのリターンがある、と説明しています。

当社の集客の基本である口コミは、マーケティング調査で「1人の満足は7人に広がり、1人の不満足は66人に広がる」というデータがあります。この1人1人の満足のお客様をいかに作っていくかということに尽きます。

そのためには能動的に動かなければいけません。お客様にアプローチしてカーライフをリサーチし、瞬時に品質の良いサービスを提案する必要があり、知識と技量が必要です。お客様に品質の高いサービスを提供し、満足度を高めることで、自分の達成感も得られます。嬉しいことに、サービスした担当者の元へ、よくお客様から感謝のお手紙をいただきます。

実際にはどのような取り組みを？

全社員が目標達成シートを作成し、店長とのミーティングを繰り返して、進捗をチェックしています。

また、マトリックス組織を導入し、各店の店長はタイヤ、オーディオなど各部門の統括を兼務する体制をとっています。例えば富山

東店の店長はタイヤ部門の統括を兼任し、全店舗のタイヤ販売の戦略遂行の責任を負っています。

各メンバーには部門統括と店舗店長の2人のリーダーがいることになりませんが、統括が優先します。店長の役割は部門毎の戦略を実践させるためのサポートです。店長会では各統括からそれぞれの店舗に戦略が伝えられ、店長は他店のメンバーにも統括部門の数字を上げてもらわなくてはならないので、店長会で各店の事例や問題点を話し合い、情報が全社にスムーズに流れるようになりました。**今後の展望をお聞かせ下さい。**

当社の使命は道路交通法に基づき、自動車を通じて社会貢献していくことです。今後も変わりません。一方、少子化はマーケットの縮小につながります。車、国内に限らず、広く社会に貢献できる企業でありたいと考えています。

座右の銘を教えてください。

相田みつをの「一生勉強、一生青春」です。経営者として常に学び向上していかなければいけないと思っています。

会社概要

株式会社 ピア

創 業：1984(昭和59)年
所 在 地：富山市太郎丸西町2丁目6番地12
資 本 金：4,900万円
事業内容：自動車・オートバイ用品の販売、車両販売、車検・車両整備、钣金・塗装、損害保険代理店、パソコン研修、飲食業
従業員数：116名（2015年1月現在）
売上高：19億5,582万円（2014年2月期）
事業所：イエローハット富山県5店舗・石川県3店舗・钣金塗装店2店、テクノクラート（自動車整備工場）、富士通オープンカレッジ、カフェバル・シャンティ
U R L： <http://www.pureg.jp/>

略 歴

1956(昭和31)年4月生まれ。入善町出身。富山市のタイヤショップに入社し、本社、高岡店、金沢店の店長を務めた後、'84年11月にプロフェッショナルゾーン・ピアを開店。'85年に法人化し現在に至る。2002年富山大経済学部経済学科に社会人入学、'08年同大学院経済学研究科企業経営修士修了(MBA取得)。



新春互礼会

経済5団体で盛大に開催



新幹線開業の年、飛躍を誓う

1月5日(月)16時からANAクラウンプラザホテル富山で、富山県経営者協会と、富山県商工会議所連合会、富山県中小企業団体中央会、富山県商工会連合会、今年から富山経済同友会が加わり、経済5団体による新春互礼会を開催した。当協会会員242名を含む453名が参加し、新幹線開通で地域経済飛躍の年につなげるよう決意を新たにした。

黒田富山県中小企業団体中央会会長による開会の言葉のあと、稲垣当協会会長が「今年は富山県経営者協会がホスト役なので、私から新年のご挨拶を申し上げます。今年から経済同友会の皆さんが入っていただき



黒田会長

うれしく思っております。『新しい年の始めの初春の 今日降る雪の いや重け吉事』という大伴家持の歌があります。正月三が日の大雪を思うと、今年は最初は厳しいけれどもだんだん良くなっていくぞと思わせるような、本日は晴れやかな日となりました。



稲垣会長

50年間待ち続けた北陸新幹線が開通いたします。観光客も増え、富山のいろんなものを知っていただき、そして富山の産業も発展する。大変ありがたいことですが、観光客の増加ももしかすると一時的なものになるかもしれない。新幹線の効果はそのような一過性のもではなく、持続的にこの地域が発展していくというスパイラル的効果となるよう期待したいと思います。

今年は乙羊(きのとひつじ)「地中に芽生えた種が地中の様々な障害物をよけながらも成長していく」ということを象徴しているそうです。企業にとってもなかなかまっすぐに上に進めないかもしれないけれど、さまざまな障害物を避けながら成長に向かって突き進

む年になればと思います」と挨拶した。

来賓を代表して石井隆一富山県知事から「今年は一地方創生一の年、経済界のみなさまと手を携え頑張っていきたい。急速な人口減少の中、人手不足を補うためにも個々人の生産力を高めていく努力が必要です。



石井知事

県としても企業の従業員のみなさんのスキル、能力向上のための施策もたくさん用意しているので、積極的に活用ください。新幹線開通の年、富山新時代の元年です。この絶好の機会をみなさんと共に努力をして最大限に生かし、富山を、北陸を活性化する、それが日本の再生の一翼を



久和代表



米原代表

担うようになるよう頑張っていきたい」と祝辞をいただいた。来賓の行政、経済団体の長

を紹介し、久和、米原両富山経済同友会代表幹事による掛け声で、来賓21名が鏡開きした。



石澤会長

石澤富山県商工会連合会会長が乾杯の発声をして、闊達な賀詞交換が行われた。

中締めでは高木富山県商工会議所連合会会長が「新幹線開通のチャンスはどう生かしていくかは、各企業の知恵の絞りどころだと思います。千載一遇の機会を逃すことなくしっかり捕まえ、自社の発展に結びつけていただきたい。それが県内全体の発展につながっていくものと確信します」と述べ、力強く一本締めした。



高木会長

2014年12月10日～2015年2月10日

	事業名	委員会名	開催日	場所	参加者数
会 議	IT・インフラ委員会「定例委員会」	IT・インフラ	12月10日(水)	富山電気ビル	12名
	品質管理委員会「定例委員会」	品質管理	12月12日(金)	富山経協・研修室A	14名
	環境委員会「定例委員会」	環境	12月18日(木)	富山経協・研修室A	15名
	新春互礼会		1月5日(月)	ANAクラウンプラザホテル富山	453名
講演 見学会	企業理念見学会	経営企画	2月6日(金)	阪神化成工業(株)	20名
講 座 ・ セ ミ ナ ー	管理職マネジメント研修	教育	12月11日(木) 1月15日(木)	富山県農業総合研修所	21名
	品質管理入門講座(応用編)	品質管理	1月22日・29日(木) 2月5日(木)	富山経協・研修室A	25名
	2015年労使交渉セミナー	人事・労務政策	1月29日(木)	富山商工会議所ビル	23名

人事・労務政策委員会

■2015年度労使交渉セミナー

1月29日(木)、「2014年労使交渉・協議に向けての経営側のスタンス」をテーマに、23名が参加して富山商工会議所ビルで開催した。

日本経済団体連合会労働政策本部 野村良寿氏は、①今次春季労使交渉・協議に臨むにあたって、企業労使は、デフレからの脱却を確実なものとし、経済の好循環の2巡目を回すことの重要性を踏まえていく必要がある。②賃金等の



労働条件は、企業労使が徹底的に議論したうえで、総額人件費の適切な管理のもと、自社の支払能力に基づき決定することが原則である。③収益が拡大している企業は、

設備投資や研究開発投資、雇用拡大等とあわせ、定期昇給の実施や賞与・一時金への反映、諸手当の改定を含めた賃金の引き上げを前向きに検討することが強く期待される。また、賃金自体が多様であるため、「賃金の引き上げ=ベースアップ」といった単純なものとはならず、ベースアップは賃金を引き上げる場合の選択肢の一つとなるとした。

品質管理委員会

■定例委員会

12月12日(金)、町野委員長はじめ委員14名が出席して富山経協・研修室において開催した。

町野委員長挨拶の後、2014年度の事業活動報告と2015年度の事業計画案について審議を行った。

2014年度は、2013年度に引き続き、委員会活動の活性化をねらいに、定例委員会でのグループディスカッション、委員企業見学会の実施や講座の担当委員制実施等に

取り組んだ。

講座関係では、受講者の負担感軽減策を実施し、参加人数にバラツキはあるものの計画値410名のところ428名の受講者を得たこと等について報告があった。

2015年度については、基本的には2014年度を引き継いで進めていくこととするが、受講者が減少している品質工学実践講座とTQM経営者ミーティングの2講座を廃止し、ものづくり品質管理セミナーを協会全体事業へ移管すること



とした。

委員会の最後に2班に分かれ、「ものづくりはひとつづくりから」の課題を基に、人財育成の各社の取り組みについて活発なグループディスカッションを行った。

環境委員会

■定例委員会

12月18日(木)、三鍋委員長はじめ委員15名が出席して、富山経協・研修室において開催した。

三鍋委員長挨拶の後、2014年度事業活動報告と2015年度事業計画案について審議した。

2014年度は、新たな枠組みでの「情報交換会」を立ち上げ、特定テーマに絞らず講演会、セミナー、委員企業見学会を、委員メンバークロウド方式で4回実施したこと、また、環境保全活動として、三協立山(株)「ツインリーフの森づくり」



活動に参加したこと等を報告した。

2015年度については、基本的には2014年度を引き継いで進めていくこととするが、委員会活動の活性化をねらいに、委員の皆さまが事業に出席しやすい仕掛けづくりを実施すること、および、情報交

換会のうち講演会、セミナーは会員企業オープン方式に変更して開催することにした。

会議の後、白江副委員長、笹倉幹事、日南田幹事より環境に関する各種情報や自社でのトピックスの情報提供があった。

IT・インフラ委員会

■第4回定例委員会

12月10日(水)、齊藤委員長はじめ12名の委員が出席し、富山電気ビルディング4階会議室において開催した。

齊藤委員長の挨拶の後、今年度の活動について、2月25日(水)に「中小企業のための情報セキュリティ基礎セミナー～一人ひとりの心構えが会社をリスクから守る～」を開催することが承認された。

次に来年度以降の活動について、



今後の活動方針、具体的活動項目について意見交換を行った。終了後は懇親会を開催し、委員間の親交を深めた。

参加者NOTES

品質管理委員会

「実践しながら学ぶ統計的手法活用講座」を受講して

北陸電気工業株式会社 田近 良佑
HDKマイクロデバイス株式会社



私は品質保証課に所属し、主に車載向け製品の顧客担当をしております。業務内容としては、工程不良削減、お客様からの製品動作不具合のフィードバックに対する原因解析などを担っております。

さて、お客様からの不具合フィードバックにおいては原因究明のみならず、対策に関しても立案の必要があります。対策立案には根本原因を追求し、原因に対して適切な対策内容であることが求められます。問題解決には、数値上の性質や規則性、或いは不規則性を

見出した上でどこに問題があるかを把握しなければなりません。私自身は専門的に統計学を学んだ経験がこれまで皆無であり、原因追求に際して統計的な手法を満足に用いたことがありませんでした。また、工程異常解決においても統計学の必要性を感じ、上司の奨めもあり本講座を受講致しました。

本講座の受講により、管理図法、分散分析法、サンプリング法他、統計を理解する上で大変役立つ学習となりました。管理図を用いることで製造工程が安定な状況で管

理されているかを判断出来るようになり、今後の社内工程改善において役立てることが出来るものと考えております。また、分散分析はデータの誤差によるばらつきの有無を判断する上で大変重要であることを学びました。サンプリングについて学ぶ前は調査対象を単純に抽出する程度の知識しかありませんでしたが、調査対象によって適切なサンプリング法があることを学び、全体から一部を調べることで、大きな母集団の正確な情報をつかめる事を理解致しました。

講義と同時に社内における問題解決に取り組む形式であったため、学んだことを忘れないうちに業務へ活かせる点が大変有り難く思いました。今後も積極的に業務へ管理手法を活用し、今回学んだこと生かしていきたいです。

経営企画委員会

■企業理念見学会

2月6日(金)、総務交流委員会との共催にて、経営者の考えを自ら語っていただき、その考え・方針を具体化する仕掛けの効果などを実際に見て体感する「第4回企業理念見学会」を阪神化成工業(株)で開催し、20名が参加した。

最初に、高田順一社長より「当



社の経営について」と題して、創業から今日までの歴史、節目における社長としての決断、経営理念、社風と人材育成などについて講演をいただいた。角工場長より本社工場の概要説明を受け、会社案内

DVDを見た後、2班に分かれてショールームや工場を見学した。

その後、出席者全員で意見交換を行い、「参考になった点」、「こうしてはいかがか」について活発な議論を行い、最後に発表した。

会員の動き

(50音順) (敬称略)

■代表者の変更

株式会社 シキノハイテック

代表取締役会長兼社長 塚田 隆 (前:尾定祐昭)

株式会社 大和 富山店

店長 岡本 志郎 (前:村田雅光)

日本カーボン株式会社 富山工場

常務取締役 富山工場長 山崎 裕功 (前:山野 智)

■社名の変更

黒谷株式会社 (前:株式会社クロタニコーポレーション)

人材の確保・従業員の再就職をお手伝い!

事業の拡大・欠員補充等による
人員確保を行いたいとき

事業の整理・縮小等に伴い、
人員削減せざるを得ないとき

そんなとき、まっ先にご相談ください。



公益財団法人

since 1987

出向・移籍(転籍)の専門機関

産業雇用安定センター

〒930-0857 富山市奥田新町8-1 ボルファートとやま10F TEL 076-442-6900

ご利用時間/9:00~17:00(土・日・祝日は休み) FAX 076-439-2860

インターネットで最新の人材情報をどうぞ <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

2014年 冬季賞与支給結果 (最終集計)

1. 県内

前年比2.96%増加、
2年連続のプラス

富山経協は1月22日、「2014年冬季賞与・一時金支給結果(単純平均・最終集計)」をまとめた。集計可能な154社の支給額平均は463,622円で、今回回答のあった企業の前年同期の支給額平均(450,303円)と比べると、金額で13,319円、率で2.96%増加と、2年連続のプラスとなった。

業種別では、製造業は前年同期比5.04%増加の480,278円、非製造業は同1.17%増加の449,741円となった。

製造業では12業種中7業種で増加し、鉄鋼・非鉄金属が17.87%増加、汎用・生産機械器具が15.96%増加と2桁の増加となった反面、印刷が4.19%減少、繊維が2.91%減少となった。

非製造業では10業種中7業種で増加し、学術・専門・技術サービスが6.93%と増加となった反面、宿泊・飲食・生活関連が38.27%減少、教育・医療・福祉が18.32%減少と大幅な減少となった。(表1)

(表1) 県内企業の2014年冬季賞与・一時金支給結果 [単純平均]
(最終集計—2015年1月22日) (一社) 富山県経営者協会

業種	社数(社)	2014年冬季支給額(円)	2013年冬季支給額(円)	前年同期比(%)
食料品・飲料	4	423,922	430,304	△1.48
繊維	3	251,837	259,398	△2.91
木材・パルプ・紙	6	392,829	373,549	5.16
印刷	2	350,594	365,922	△4.19
化学	14	621,088	590,783	5.13
プラスチック・ゴム	4	362,078	360,848	0.34
鉄鋼・非鉄金属	3	365,000	309,667	17.87
金属製品	11	458,043	443,950	3.17
汎用・生産機械器具	12	513,107	442,480	15.96
電子・電気機械器具	7	441,839	439,004	0.65
輸送用機械器具	3	623,263	631,375	△1.28
その他製造業	1			
建設	10	358,377	354,813	1.00
電気・ガス	2	766,644	729,127	5.15
情報通信	9	605,964	575,948	5.21
運送	14	391,722	385,328	1.66
卸・小売	24	465,119	442,004	5.23
金融・保険	3	473,572	477,767	△0.88
宿泊・飲食・生活関連	3	143,339	232,209	△38.27
学術・専門・技術サービス	7	515,321	481,904	6.93
教育・医療・福祉	6	410,727	502,849	△18.32
サービス・その他非製造業	6	439,708	437,803	0.44
総平均	154	463,622 (518,390)	450,303 (500,999)	2.96 (3.47)
製造業平均	70	480,278 (514,483)	457,242 (496,740)	5.04 (3.57)
非製造業平均	84	449,741 (523,815)	444,521 (506,934)	1.17 (3.33)

(注) ①調査対象 456社のうち、集計可能な回答のあった154社の数値である。
②「2013年冬季支給額」は、今回「2014年冬季支給額」の回答があった企業の数値である。
③平均欄の上段は一社当たりの単純平均、下段の()内は一人当たりの加重平均である。
④当該業種1社だけの回答の場合は数字を伏せているが、平均には含む。

2. 全国大手 157社単純平均737,906円、前年比プラス5.95%

日本経団連が12月19日に取りまとめた「2014年冬季賞与・一時金 大手企業妥結結果(単純平均・最終集計)」によると、調査対象の全国大手企業(主要20業種、大手240社)のうち、集計可能な157社の妥結額平均は737,906円で、前年同期の最終妥結実績(159社、696,465円)と比べると、金額で41,441円増加し、増減率でプラス5.95%となった。

業種別では、製造業は前年同期比6.06%増加の740,445円、非製造業は同5.19%増加の724,501円となった。(表2)

(表2) 全国大手企業の2014年冬季賞与妥結結果 [単純平均]
(最終集計—2014年12月19日) (一社) 日本経済団体連合会

業種	2014年冬季		2013年冬季		前年同期比(%)
	社数(社)	妥結額(円)	社数(社)	妥結額(円)	
総平均	157	737,906 (848,405)	159	696,465 (806,007)	5.95 (5.26)
製造業平均	132	740,445 (860,244)	131	698,113 (810,327)	6.06 (6.16)
非製造業平均	25	724,501 (803,193)	28	688,757 (790,118)	5.19 (1.65)

(注) ①調査対象は、原則として東証一部上場、従業員500人以上、主要20業種大手240社。
②「2013年冬季」の数値は昨年の本調査の最終集計結果である。
③「平均」欄の上段は一社当たりの単純平均、下段の()内は一人当たりの加重平均である。

お知らせ

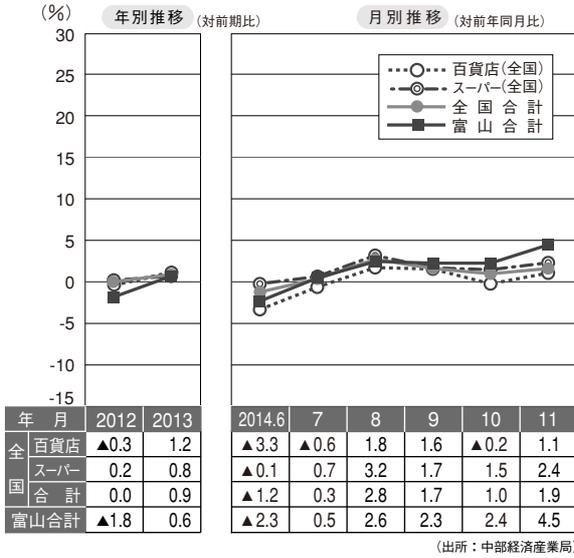
幹事会

(別途ご案内申し上げます)

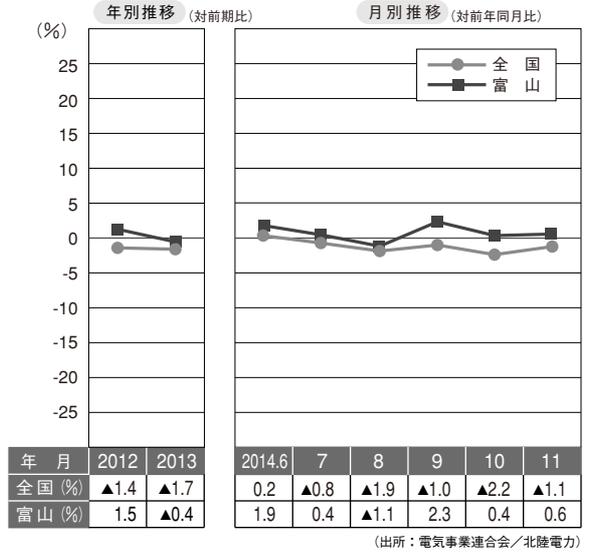
■日時:2015年3月3日(火) 16:00~
■場所:富山電気ビルディング 5階「中ホール」
富山市桜橋通り3-1 TEL (076) 432-4111
〈内容〉・2014年度事業報告

景況指標

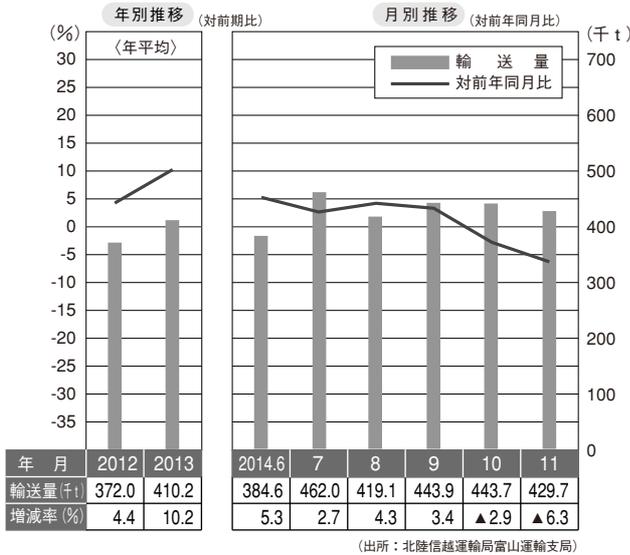
百貨店・主要スーパーの売上高



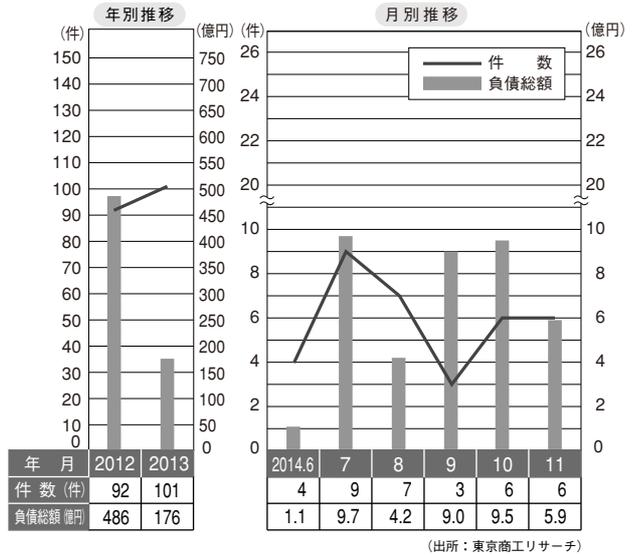
大口電力消費量 (製造業計)



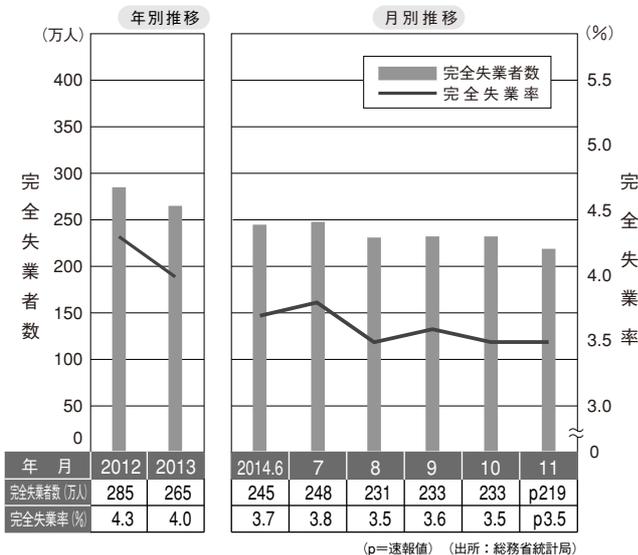
一般貨物自動車輸送量 (富山県内)



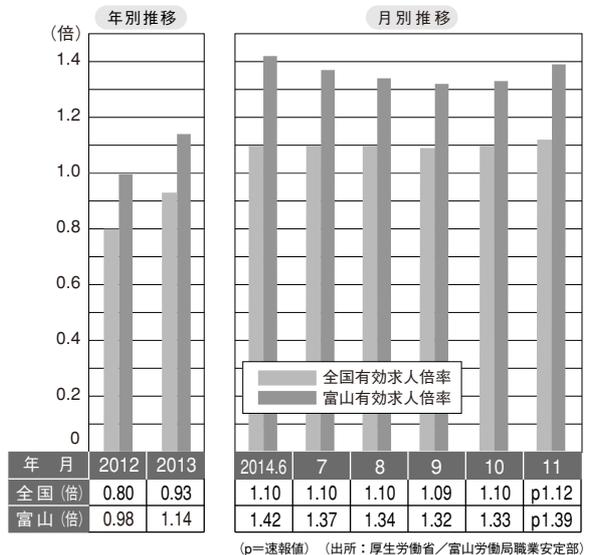
企業倒産 (富山県内) (件数と負債総額)



完全失業者数及び完全失業率 (季節調整値)



有効求人倍率 (パートを含む季節調整値)



事業予定

2015年 2月16日～4月15日

詳しくはホームページ (<http://www.toyama-keikyo.jp/>)
「講座・セミナー案内」をご覧ください。

	開催日	時間	事業名	委員会名	場所
会 議	2月23日(月)	14:00～16:00	環境委員会「情報交換会」	環 境	アイシン軽金属(株)
	2月23日(月)	15:30～17:30	人事・労務政策委員会「定例委員会」	人事・労務政策	富山経協・研修室A
	2月23日(月)	15:30～17:30	IT・インフラ委員会「定例委員会」	IT・インフラ	富山第一ホテル
	2月26日(木)	16:30～18:30	労働法関連法制研究部会	人事・労務政策	富山経協・研修室A
	2月27日(金)	14:00～16:00	品質管理委員会「定例委員会」	品質管理	富山化学工業(株)
	3月 3日(火)	11:00～12:30	連合富山との懇談会		ANAクラウンプラザホテル富山
	3月 3日(火)	16:00～	幹事会		富山電気ビル
	3月 3日(火)	17:00～	理事会		富山電気ビル
	3月17日(火)	17:00～	長野経協との合同協議会		富山第一ホテル
講 座 ・ セ ミ ナ ー	2月17・18日(火・水)	9:30～16:30	第2回係長・主任実践コース	教 育	富山県市町村会館
	2月19日(木)	9:00～17:00	品質管理入門講座(応用編)	品質管理	富山経協・研修室A
	2月20～21日(金～土) 3月12日(木) 4月14日(火)	9:00～17:00	管理職マネジメント研修	教 育	富山県農業総合研修所
	2月25日(水)	13:30～16:30	中小企業のための情報セキュリティ基礎セミナー	IT・インフラ	富山経協・研修室A
	2月26日(木)	13:30～16:00	第4回労働法実務講座	人事・労務政策	富山商工会議所ビル
	3月 4日(水)	9:30～16:30	CS顧客満足基礎セミナー	教 育	富山商工会議所ビル
	3月13日(金)	9:30～16:30	購買管理実践セミナー	教 育	富山商工会議所ビル
	3月19日(木)	13:30～16:30	改善力レベルアップセミナー(応用編)	教 育	富山商工会議所ビル
	4月 2日(木)	9:30～16:30	2015年 新入社員講習会	教 育	富山県市町村会館



表紙の花 フキノトウ

(富山県中央植物園 中田政司)

フキノトウはフキの花茎

蕪村に「蒼(つぼみ)とは汝(なれ)も知らずよ露(ふき)の臺(とう)」という句があります。フキノトウはフキの蕾(=蒼、つぼみ)だと看破しているわけですが、一見花のように見えるのは若い花茎にあたり、正確には蕾ではありません。フキはキク科で、真ん中にある丸い粒状のものがヒマワリやタンポポの「花」に相当し、本当の花はこの中に小さく隠れています。

フキノトウは春の季語で、2月の沢沿いなどでよく見られますが、やがて茎が伸びていわゆる「臺が立った」状態になり、4月には50cmにもなるとタンポポのような綿毛をつけた種子(果実)を飛ばします。あまり知られていませんが、フキ

は雌雄異株の植物で、臺が立つのは雌株だけということになります。

山菜としてのフキ

フキノトウは雪融けとともに最も早くから収穫できる山菜で、冬眠から覚めたクマが最初に食べるのもフキノトウだといわれています。天ぷらやふき味噌として古くから親しまれており、ほろ苦い独特の風味が春の訪れを告げてくれます。食品成分としてはカリウムが豊富で、ビタミン類、カロテン、食物繊維などが含まれていますが、肝毒性のあるアルカロイドも含まれているため、アク抜きしてから調理することをお勧めします。



臺が立って種子をつけたフキノトウ

「富山経協」vol.817

2015年(平成27年)2月号
2015年2月15日発行(隔月発行)

一般社団法人 富山県経営者協会

〒930-0083 富山市総曲輪2丁目1番3号(富山商工会議所ビル 別館5階)
TEL (076) 421-9588 FAX (076) 421-9952
ホームページ <http://www.toyama-keikyo.jp/>
Eメール info@toyama-keikyo.jp